

平成24年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ  
 コード番号 8886 URL <http://www.woodfriends.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 前田 和彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 中島 崇

TEL 052-249-3504

四半期報告書提出予定日 平成24年1月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第2四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第2四半期	11,974	△8.8	108	△82.3	△27	—	△113	—
23年5月期第2四半期	13,130	△16.7	615	△24.4	491	△24.9	224	3.9

(注) 包括利益 24年5月期第2四半期 △96百万円 (—%) 23年5月期第2四半期 240百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第2四半期	△7,826.48	—
23年5月期第2四半期	15,425.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年5月期第2四半期	22,526	3,986	17.4	269,534.13
23年5月期	20,470	4,185	20.2	284,337.38

(参考) 自己資本 24年5月期第2四半期 3,922百万円 23年5月期 4,137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	7,000.00	7,000.00
24年5月期	—	0.00	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	3,500.00	3,500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

配当予想の修正については、平成24年1月10日開示の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,590	2.4	866	△29.7	591	△40.5	255	△50.7	17,523.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想の修正については、平成24年1月10日開示の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期2Q	14,800 株	23年5月期	14,800 株
② 期末自己株式数	24年5月期2Q	248 株	23年5月期	248 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期2Q	14,552 株	23年5月期2Q	14,552 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

現時点で得られた情報に基づき算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は業況の変化などにより業績予想と大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.2「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により、依然として厳しい状況となりました。企業収益では減少の動きがみられ、雇用情勢は依然として厳しい状況のまま推移しました。また、欧州の債務危機等の景気下振れリスクが存在しており、先行きに対する不透明感は一層強まりました。

不動産業界においては、伸び悩む個人消費や所得環境等を背景として、新設住宅着工戸数は依然として低水準で推移しており、市況は厳しい状況となりました。

このような状況下、当グループの主力事業であります住宅事業では、販売活動に注力してまいりましたが、販売戸数が計画対比で未達となりました。

その一方で、新しい住宅供給システムの中核機能を担う施設である岐阜工場の稼働を開始しました。同工場では住宅設計、集成材製造及びプレカットを連携させ、木材資源の有効利用と省力化を図るとともに環境負荷を低減し、地域社会の経済や生活文化に貢献してまいります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 住宅事業

販売戸数が計画対比で未達であったことに加えて、一部の物件において政策的に販売価格の見直しを実施したことにより、当初計画した利益率を下回る結果となりました。売上高は11,032百万円(前年同期比8.7%減)、セグメント利益は205百万円(前年同期比72.0%減)となりました。

#### ② AM(アセットマネジメント)事業

ゴルフ場の来場者数が概ね計画どおりであったため、業績は堅調に推移しました。売上高は807百万円(前年同期比6.3%増)、セグメント利益は134百万円(前年同期比0.5%増)となりました。

#### ③ その他の事業

生活関連ビジネスでは、当初計画を下回る結果となりました。売上高は175百万円(前年同期比45.0%減)、セグメント損失は21百万円(前年同期は43百万円の損失)となりました。

以上の結果により、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,974百万円(前年同期比8.8%減)、営業利益は108百万円(前年同期比82.3%減)、経常損失は27百万円(前年同期は491百万円の利益)、四半期純損失は113百万円(前年同期は224百万円の利益)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、たな卸資産の取得を主な要因として、前連結会計年度末と比較して2,056百万円増加し、22,526百万円となりました。

#### ② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、たな卸資産の取得に伴う借入金の増加を主な要因として、前連結会計年度末と比較して2,254百万円増加し、18,540百万円となりました。

#### ③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度に係る配当金の支払を主な要因として、前連結会計年度末と比較して198百万円減少し、3,986百万円となりました。

#### ④ キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失が27百万円(前年同期は484百万円の利益)となったことに加え、たな卸資産の増加による支出が2,571百万円(前年同期比10.7%減)であったことを主な要因として3,304百万円の支出(前年同期比38.1%増)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として有形固定資産の取得等により、252百万円の支出(前年同期比149.1%増)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入れ及び社債の発行による収入が借入金の返済による支出を上回ったこと等により、2,109百万円の収入(前年同期比19.3%減)となりました。

以上の結果により、現金及び現金同等物は1,447百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末残高は1,699百万円(前年同期比50.0%減)となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年1月10日の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。

b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,184,918	1,736,968
完成工事未収入金	60,513	68,097
売掛金	87,496	65,370
販売用不動産	6,350,457	9,059,574
仕掛販売用不動産	5,498,766	5,383,398
商品	7,408	6,784
未成工事支出金	1,503,788	1,462,313
原材料	36,193	56,206
その他	655,502	950,353
流動資産合計	17,385,046	18,789,067
固定資産		
有形固定資産	2,665,222	3,304,216
無形固定資産	65,974	56,163
投資その他の資産	354,669	377,550
固定資産合計	3,085,866	3,737,929
資産合計	20,470,913	22,526,997
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	1,840,902	1,533,378
買掛金	148,400	84,430
1年内償還予定の社債	186,800	226,800
短期借入金	9,444,920	11,363,791
1年内返済予定の長期借入金	263,151	491,103
未払法人税等	272,083	94,090
賞与引当金	4,163	21,198
完成工事補償引当金	91,374	81,374
その他	647,892	709,452
流動負債合計	12,899,688	14,605,619
固定負債		
社債	733,200	799,800
長期借入金	1,939,930	1,916,433
退職給付引当金	6,044	6,170
役員退職慰労引当金	105,800	109,050
資産除去債務	5,628	17,191
その他	595,526	1,086,413
固定負債合計	3,386,129	3,935,058
負債合計	16,285,817	18,540,678

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	269,495	269,495
利益剰余金	3,629,512	3,413,757
自己株式	△40,454	△40,454
株主資本合計	4,137,677	3,921,922
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	338
その他の包括利益累計額合計	—	338
少数株主持分	47,418	64,058
純資産合計	4,185,095	3,986,318
負債純資産合計	20,470,913	22,526,997

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)
売上高	13,130,336	11,974,749
売上原価	11,196,585	10,438,907
売上総利益	1,933,750	1,535,842
販売費及び一般管理費	1,318,221	1,426,896
営業利益	615,529	108,945
営業外収益		
受取利息	1,100	144
受取手数料	8,190	9,824
違約金収入	3,777	2,000
その他	5,763	11,885
営業外収益合計	18,832	23,854
営業外費用		
支払利息	107,973	146,206
社債発行費	8,627	3,292
資金調達費用	9,804	1,665
その他	16,525	8,886
営業外費用合計	142,930	160,051
経常利益又は経常損失(△)	491,430	△27,251
特別損失		
固定資産除却損	1,722	718
減損損失	4,225	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	852	—
特別損失合計	6,801	718
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	484,629	△27,970
法人税等	243,760	69,280
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	240,868	△97,250
少数株主利益	16,398	16,639
四半期純利益又は四半期純損失(△)	224,470	△113,890

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	240,868	△97,250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△755	338
その他の包括利益合計	△755	338
四半期包括利益	240,113	△96,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	223,715	△113,552
少数株主に係る四半期包括利益	16,398	16,639

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	484,629	△27,970
減価償却費	125,581	118,391
減損損失	4,225	—
のれん償却額	12,844	12,844
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△26,000	△15,500
受取利息及び受取配当金	△1,538	△582
支払利息	107,973	146,206
売上債権の増減額(△は増加)	△6,296	14,542
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,881,009	△2,571,662
仕入債務の増減額(△は減少)	512,081	△374,411
その他	△178,963	△187,682
小計	△1,846,471	△2,885,825
利息及び配当金の受取額	1,538	582
利息の支払額	△117,612	△152,444
法人税等の支払額	△431,368	△267,148
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,393,914	△3,304,836
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△49,399	△176,228
その他	△51,882	△76,084
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101,282	△252,313
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	10,373,250	9,088,675
短期借入金返済による支出	△6,672,361	△7,169,804
長期借入れによる収入	220,000	467,000
長期借入金返済による支出	△1,566,305	△262,545
社債の発行による収入	591,372	196,039
社債の償還による支出	△234,000	△93,400
リース債務の返済による支出	△10,497	△15,485
配当金の支払額	△87,323	△101,279
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,614,136	2,109,199
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	118,939	△1,447,950
現金及び現金同等物の期首残高	3,280,490	3,147,418
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,399,429	1,699,468

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成22年11月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	住宅事業 (千円)	AM事業 (千円)	その他の 事業 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	12,085,034	759,203	286,097	13,130,336	—	13,130,336
セグメント間の内部売上高 又は振替高	465	687	32,770	33,923	△33,923	—
計	12,085,499	759,891	318,868	13,164,259	△33,923	13,130,336
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	733,819	134,106	△43,491	824,434	△208,905	615,529

- (注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、収益不動産の開発・賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。
- 2 セグメント利益の調整額△208,905千円には、セグメント間取引消去13,931千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△222,837千円が含まれています。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年11月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	住宅事業 (千円)	AM事業 (千円)	その他の 事業 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	11,022,259	806,391	146,098	11,974,749	—	11,974,749
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,682	1,516	28,920	41,120	△41,120	—
計	11,032,941	807,907	175,019	12,015,869	△41,120	11,974,749
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	205,357	134,793	△21,392	318,757	△209,812	108,945

- (注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、収益不動産の開発・賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。
- 2 セグメント利益の調整額△209,812千円には、セグメント間取引消去11,529千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△221,341千円が含まれています。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。